



特定非営利活動法人 なんとなくのにお 通信

URL <http://www.nantonakuno.net/>

Mail info@nantonakuno.net

第12回 通常総会報告

5月7日(土)午後2時より、「市民活動支援センター」が建替え閉館中のため、今回は「子どもの居場所」(日光市平ヶ崎)を会場として通常総会が開かれました。

はじめに正会員数56名中、出席正会員36名(うち表決委任者23名)により定足数を満たし、会が成立することを確認しました。その後、事業報告・決算報告、事業計画・予算案が承認され、議事は滞りなく終了しました。議事終了後はお茶会となり、会員の交流の場となりました。承認いただいた本年度事業計画の概要を以下にお知らせします。

■ 事業計画

(1) 子どもたちの自主性および自立性を尊重した居場所の提供および学びの場の運営

子どもの居場所 月～金曜日:12:30～16:30

予算:2,462,000円

「居場所」は日光市からの委託事業です。学校長期休業中も火・金曜日に開きます。在籍校と連携し、個別学習援助を充実させたいと考えます。日光市からの委託金は204万円ですので、不足分は本会より支出しています。

(2) 子どもたち一人ひとりに対応した、新たなカリキュラムや学習内容の開発

学びサポートひろば 毎週金曜日:19:00～21:00

発達障がいを持つ子どもなどへの学習サポート、ワカモノフェスタなど地域行事の支援を行います。

予算:130,000円

(3) インターネットなどのIT環境を活用した学びの支援および情報提供

ホームページやメールによる学びの支援と活動紹介。

予算:80,000円



「こどもパソコン」IchigoJam

(4) 教育や福祉についての相談、情報提供および障がいの理解および啓発に関する企画運営事業

居場所での随時相談、会報作成(200部) 予算:45,000円

(5) 学校外で育つ青少年や障がいのある人の自立に関する相談および就労を支援する活動

引きこもる子を持つ親の会との話し合い、障がいのある人の自立に関する相談。 予算:10,000円

(6) 自然環境の中での学び、自然環境保全の啓発活動

自然観察、畑作り、川遊び等。環境研究班による放射能・放射線測定・啓発活動 予算:121,000円

(7) 障がいの理解および啓発に関する企画運営

子育て・親育ち勉強会や茶話会の実施。 予算:40,000円

(8) 第二種社会福祉事業の相談支援事業の経営

特定指定相談支援事業(さくらそう) 予算:2,530,000円

相談支援事業(栗原理事の日光市役所出向)

予算:5,800,000円

通常総会資料は以下のアドレスから閲覧できます。

www.nantonakuno.net/gm2016.pdf

「子どもたち一人ひとりの自主性が尊重され、明るく生活でき、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりと学びの支援」を軸に「福祉」および「環境」分野でも新たな活動を展開していきたいと思えます。これからもいっそうのご援助、ご協力、そしてご助言をよろしくお願い致します。(手塚)

目次

第12回 通常総会報告	1
川むしたんけん隊(西沢川)	2
活動日誌	3
放射能測定ワークショップ	3
こんな本はいかが? 34	4



居場所のひとこま

5月半ば、じゃがいもの追肥、芽かきを行いました。芽かきをすることにより、養分の分散をおさえ、実を大きくすることができます。とても暑い日だったので、頭にタオルを巻いての作業になりました。(N)

川むしたんけん隊

5月21日(土) 長畑・西沢川

今市の水を守る市民の会と共同開催



魚類:カジカ

野鳥:ハクセキレイなどが見つかりました。

(太字はとくに多かった昆虫類)

採取を終え、塚崎さんからまどめの話を聞いて解散になりました。上流は鶏鳴山につながる西沢川。周辺には落葉樹が目立ち、そのためか、虫の種類は想像以上に多かったとのことです。参加者の中には山を越え、小来川の小学校に通ったという経験を話す方もいました。

お弁当を食べたあと、ひとり残っていた中学生から「もう少したんけんしたい」との要望がありました。塚崎さんをお願いして、先ほどの採取場所から少し上流へ。そこでみつけたのは、とてもきれいな水に棲む「ウズムシ(プラナリア)」と「アミカ」(写真)でした。どちらも小さく、探し出すのが難しい生き物です。塚崎さんにとっても「アミカ発見はこれが2度目」ということでした。「Tくんのおかげで、とても珍しい生き物に出会うことができました…」。今回も小さな感動があった「川むし」でした。(手塚)

資料提供:塚崎さん(今市の水を守る市民の会)

写真左下(塚崎さんのまどめをみんなで聞きました)

写真右下(アミカ幼虫です。小豆粒くらい)

春の「川むしたんけん」は西沢川で実施しました。落合西小学校の近くで長畑川(行川)に合流する小さな川です。長畑交差点から西へ進むと、ゴルフ場に突き当たる手前で、左手に川が見えてきます。その地点を集合場所にしました。採取条件は以下のとおりです。

天気:晴れ(気温 20℃、水温 13℃)

川幅: 10m、水面幅: 約2~3m

生物の採取:川全体

生物採取場所の水深: 5~10cm

川底:砂、砂礫(れき)、石(直径~20cm)

水の濁り:なし・透明、におい:なし きれいな水

参加者は10名ほど。今回も地域の行事などと重なってしまい、子どもの姿が少ないのがちょっと残念でした。強い日差しを川の兩岸の新緑がやわらげ、絶好の川むし日和。冷たい水に手を入れて川底を探しました。

水質階級 I :

ウズムシ(ナミウズムシ)、サワガニ、ヒラタカゲロウ類、カワゲラ類、ヘビトンボ、ヤマトビケラ類、アミカ類

水質階級 I ~ II :タニガワカゲロウ類

その他の昆虫:

ガガンボ幼虫、オニヤンマヤゴ、ミヤマカワトンボ(成虫)



子育て・親育ちの茶話会

場所: 子どもの居場所(日光市平ヶ崎)

日時: 毎月第2月曜日(午前10時~12時)

次回の予定はお問い合わせください。

参加費: 300円(お茶代)

同じ悩みを持つ親御さん同士、気持ちを許し合って、情報や悩みを分かち合しましょう。

「一人で悩まず、みんなで!」を合い言葉に。

(Tel: 090-3227-7079)

☆ 活動日誌

- 4月12日(火) 通信「なんとなくのひろば・第43号」発行
- 4月17日(日) ベリー会：月例会
- 4月23日(土) ワカモノフェスタ実行委員会
- 4月26日(火) 作って食べよう(ホットケーキ)
- 5月7日(土) 理事会(第71回)、第12回 通常総会
- 5月9日(月) 茶話会(第67回)
- 5月21日(土) 川むしたんけん隊(講師：塚崎庸子さん)
- 5月24日(火) 児童生徒指導担当者等連絡会議(主催：市教委)
(中央公民館、本会より3名参加)
- 5月27日(金) 作って食べよう(焼肉)
- 5月15日(日) ベリー会：月例会
- 5月21日(土) ワカモノフェスタ実行委員会
- 5月28日(土) 測って守る(放射線/放射能測定ワークショップ・第1回)
- 6月7日(火) 利用者関連ケース会議(市内中学校にて)
- 6月13日(月) 茶話会(第68回)
- 6月21日(火) 発達相談訪問(日光市教育委員会 臨床心理士・山下育子先生)
- 6月24日(金) 作って食べよう(焼肉、焼きそば)
- 6月25日(土) ワカモノフェスタ実行委員会
- 6月26日(日) ベリー会：学習会
- 7月11日(月) 茶話会(第69回)
- 7月21日(木) 「ひだまり」開所式
- 7月23日(土) ワカモノフェスタ実行委員会
- 7月24日(日) 作って食べよう(そば打ち体験)
- 7月24日(日) ベリー会：学習会



うまく切れたかな…
7月24日：そば打ち体験
詳しくは次号で紹介します

さくらそう関連の勉強会など

- 県西圏域障害者相談支援事業者等連絡会
- 第1回：4月15日(金)
28年度年間計画について
 - 第2回：5月20日(金)
作業療法士及び当事者から話を伺い
精神障害者支援について学ぶ
 - 第3回：6月17日(金)
視察研修 認定特定非営利活動法人 うりずん
 - 第4回：7月22日(金)
合理的配慮を学ぶ ～日光東照宮見学を通じて～
- 平成28年度相談支援専門員連絡会
(毎月第4水曜日 午後2時より)に参加しています。
4月27日、5月25日、6月22日、7月27日

測って守る 放射線/放射能測定ワークショップ

放射線/放射能測定ワークショップ・第1回を栗原公民館で行いました。臭いも味もなく、測定しないとわからない放射能の問題はとても厄介です。放射性セシウム134(半減期2年)の放射線は減りましたが、寿命の長いセシウム137(半減期30年)はまた90%が環境にとどまっています。「もう5年も経ったのだから」という常識は放射能には通用しません。煮ても焼いても減らせない放射能について知り、可能な対策を考える長期の取り組みが必要です。第2回は8月27日(土)午後7時より、会場は「今市中央コミセン」を予定しています。参加希望の方はご連絡ください。(環境研究班 三上、手塚)

監視継続へ測定法学ぶ

日光 NPO 法人が講習会

放射能と向き合う

【日光】市民が放射線や放射能の測定方法や仕組みなどを学ぶ講習会が5月28日、栗原公民館で初めて開かれた。

NPO 法人「なんとなくのひろば」が主催。物理の元高校教諭で同法人の手塚郁夫理事長(64)が講師を務め、放射線の性質や検知の仕方、測定器の構造などを約1時間半にわたり説明した。

手塚理事長は冒頭、「福



放射線の測定方法などを学んだ講習会

講習会には地域住民らが参加した。パートの30代女性は「東日本大震災を契機に、放射線を怖がるだけでは駄目だと思った。難しい内容だったが測定器の扱い方を学べて良かった」。手塚理事長は「今後も地域

島の原発事故から5年が過ぎたが、現在も放射性物質に関する事件が報道されて

いる。放射線を浴びた葉が地面に落ち、他の植物が吸収してしまうなどの問題もあり、今後も監視は必要になる」と述べた。参加者は実際に器用に触れたほか、測定方法などについて熱心に質問を繰り返した。

住民らに放射能などについて知ってもらう取り組みを「続けたい」と話した。(渡辺和博)

特定非営利活動法人 なんとなくのこわ 通信

〒321-1261 栃木県日光市今市378
電話 090-3227-7079 / Fax 0288-21-2631

E-mail: info@nantonakuno.net
ホームページもご覧ください。
<http://www.nantonakuno.net/>



こんな本はいかが？

その 34: 「家族の温かさをじんわり感じる絵本」

今回は、家族の温かさをじんわり感じてしまう絵本を紹介します。
この頃、家族の結びつきが弱くなっているのかもしれない、と思わせるような事件が多くなったような気がします。あまりにも情報が多いため、そう感じてしまうだけかもしれませんが、家族って、近づき過ぎてもよくないし、遠ざけすぎてもよくないものだと思います。

◎ 「おじいちゃんのごらくごらく」

西本鶏介・作 長谷川義史・絵(すずき出版2006)

おじいちゃんはお風呂に入ると、いつも「ごらくごらく」と言います。ゆうたはおじいちゃんのみねをして、「ごらくごらく」と言ったら、心の中まで温かくなりました。おじいちゃんが亡くなった後も、「ごらくごらく」はゆうたにとって、幸せの合言葉です。

◎ 「ばく おばあちゃんの こに なってあげる」

西本鶏介・作 渡辺さもじろう・絵(すずき出版 1995)

おばあちゃんは、時々むかしの国へ行ってしまいます。ひろくんのことも「よしお」って呼んでにこにこしています。ある日、おばあちゃんがいなくなりました。ようやく見つけたとき、おばあちゃんはすっかりむかしの国へ行ってしまいました。そのとき、ひろくんは・・・
認知症のおばあちゃんをめぐるお話ですが、家族の温かい言葉がほっこりします。

◎ 「ぎゅうぎゅうかぞく」

ねじめ正一・作 つちだのぶこ・絵(すずき出版 2002)

としおくんの家はやおやさんと、家族がいっぱい。何気ないしぐさや言葉かけが温かさを感じさせてくれます。一昔前の風景かもしれないけれど、子どもを育み、育てるものは、そんな何気ないしぐさや言葉の温かさかもしれないと思います。

◎ 「ねえ ねえ」 内田麟太郎・作 長谷川義史・絵 (すずき出版 2004)

このごろ、たあくんは何でも聞きたがります。そんなたあくと、家族みんなのやりとりに温かさを感じます。
子どものやることをよく観察してみると、おもしろい発見がたくさんあるものです。子どもには子ども時代をゆっくり歩いてほしいと願っています。現代は、子どもを早く成長させすぎていると感じるのは私だけでしょうか。
(白井)

私たちの活動目的：

日光市とその周辺地区に居住する子どもおよび青少年等に対して、学習や自立のための支援活動と地域への啓発活動を行い、社会に出た後も継続性のある、支援と学びの場を作り出します。

私たちの事業：

- ① 子どもたちの自主性および自立性を尊重した居場所の提供および学びの場の運営
- ② 子どもたち一人ひとりに対応した、新たなカリキュラムや学習内容の開発
- ③ インターネットなどのIT環境を活用した学びの支援
- ④ 教育についての相談や情報提供活動
- ⑤ 学校外で育つ青少年の自立に関する相談および就労を支援する活動
- ⑥ 自然環境の中での学びを作り出し、自然環境保全の大切さを啓発する活動
- ⑦ 障がいの理解および啓発に関する企画運営事業
- ⑧ 第二種社会福祉事業の相談支援事業経営

会員について

正会員：56
賛助会員：19
団体会員：4
入会金はありません。

年会費(一口)
正会員 3,000円
賛助会員
個人 5,000円
団体 10,000円



私たちの活動は会費と寄付金でまかなわれています。会員を継続し、応援よろしく願います。会員は新たな事業の提案、会の事業の運営などに直接かかわることができます。皆様の積極的な参加をお願いいたします。

なんとなくのへや

居場所のサポーターさんが持ってきてくれた「こどもパソコンキット」を作ってみました。(1ページ写真 <http://ichigojam.net/index.html>) ■ 利用者の青年が1時間もかからずに部品を基板にはんだ付けして完成。あとはビデオ端子付きのテレビ、PS端子のキーボード、5ボルトの電源アダプタを準備 ■ スイッチオンで無事起動しました。組立キットは税込1,620円。80年代に数十万円かけて動かした「マイコンキット」と同等の性能がこの価格で手に入る時代になりました。黒い背景にブロック体の文字が浮かび上がる昔懐かしいスタイルです ■ BASIC言語でちょっとしたゲームを動かす、LEDを点滅させるなど楽しむことができます。中学生にも声をかけて少し遊んでみました。IC端子から直接信号を取り出したり、外部のデータを読み込んだりできる機能を持っているのが特徴です。「プログラミングのお勉強」と考えるより、「あ、こんなことができるかも」、と興味を持った子どもがアイデア工作の部品として気軽に使える「おもちゃ」なのではないかと思いました。(T)